

K I Y O K A T A

NHK ジュニアガイド

小中学生は
入場無料

◎関西から学べる！役立つ！
番組を放送中

NHK京都放送局の
HPはこちら



歴史探偵

司会：佐藤二郎、渡邊佐和子アナウンサー

水曜 午後10時～10時45分（NHK総合・全国）

[再]金曜 午後3時10分～3時55分（NHK総合・全国）

※[再]は大相撲放送期間除く

調査開始！俳優の佐藤二郎所長のもと、
アナウンサーが探偵に扮し、歴史の真相に迫ります。



ニュース630
京いちにち

ニュース630京いちにち

キャスター：竜田理史、石井美江 気象予報士：栗原めぐみ リポーター：大森華子、平田性

毎週月曜～金曜 午後6時30分～午後7時（NHK総合・京都府域）

京都府各地のニュース、気象情報やスポーツ情報をきめ細かく分かりやすくお伝えするニュース情報番組です。

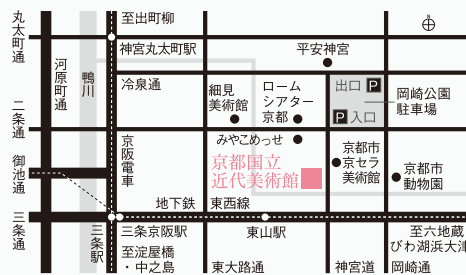
◎観覧料

一般	1,800円(1,600円)
大学生	1,100円(900円)
高校生	600円(400円)

中学生以下無料

※()内は団体料金。※団体は20名以上。団体鑑賞の場合は事前に美術館にお問い合わせください。※母子家庭・父子家庭の世帯員の方は無料。入館の際に証明できるものをご提示ください。※本料金でコレクション展もご覧いただけます。※会場内混雑の際にはお待ち願うことがあります。

◎アクセス



◎京都市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ、「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車徒歩5分、「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩10分

◎地下鉄東西線「東山駅」下車徒歩10分

※当館には駐車場がございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

※岡崎公園駐車場をご利用の有料入場者は、駐車場の割引(1台につき1回)を受けられますので駐車券をお持ちの上お越しください。

京都国立近代美術館

〒606-8344 京都市左京区岡崎門勝寺町

Tel. 075-761-4111

<https://www.momak.go.jp/>

(岡崎公園内)



没後五〇年 鏑木清方展

Kaburaki
Kiyokata:
A Retrospective

K I Y O K A T A

2022.5.27(金)ー7.10(日) 京都国立近代美術館 The National Museum of Modern Art, Kyoto

※会期中、一部の作品は展示替があります。※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催情報は変更になる場合があります。来館前に最新情報をご確認ください。

◎開館時間：午前9時30分～午後6時（金曜日は午後8時まで開館）※入館は閉館の30分前まで ◎休館日：月曜日

◎主催：京都国立近代美術館、毎日新聞社、NHK京都放送局、NHKエンタープライズ近畿 ◎協賛：DNP大日本印刷

展覧会公式サイト

<https://kiyokata2022.jp>

展覧会公式ツイッター

@kiyokata_2022

©NHK・dwaf

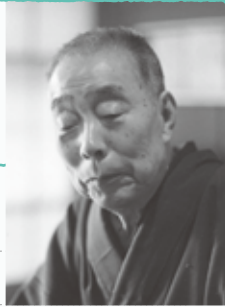
©NHK・dwaf

作者名は全て鏑木清方、作品図版は全て©Nemoto Akio、所蔵先の記載のない作品は全て東京国立近代美術館蔵 表紙の作品：鏑木清方《築地明石町》(部分)1927(昭和2)年

制作・編集：NHK大阪放送局、京都国立近代美術館 デザイン：シルシ 発行：NHK大阪放送局

目録「目録」のページをご覧ください (7ページ)等：80 80のページ

かぶら き きよ かた 鎗木清方ってどんな人？



ポトレート 鎗木清方(1956年)
鎌倉市鎗木清方記念美術館

かぶら き きよ かた
鎗木清方さんは明治11(1878)年、東京の神田に
生まれました。明治・大正・昭和という3つの時代
を生き、昭和47(1972)年に93歳で亡くなりました。

若いころは本の挿絵を描いていましたが、30歳くらいで日本画家に
なり、その後、^{ゆび}優美な女性の姿をえがいた「美人画」で有名になりま
した。《^{つき}築地明石町》、《^{あかし}新富町》、《^{しん}浜町河岸》が代表作です。
また、明治時代の人びとの生活のようすもたくさん描きました。いま
の五千円札に登場している^{ひぐち}樋口一葉さんの文学をもとにした作品で
も知られています。



《浜町河岸》昭和5(1930)年



《築地明石町》昭和2(1927)年



《新富町》昭和5(1930)年

や っ て み よ う

みなさんが未来の人に残したい景色には、どんなものがありますか？
その景色を写真に撮ったり絵に描いたり、友だちや家族と話してみましょう。

明治時代ってどんな時代？



©NHK・dwarf

かぶら き きよ かた
鎗木清方さんは、特に明治時代の人びとの生
活に^{みりょく}魅力を感じていたそうです。

明治時代は今から150年くらい前。当時の人び
とはどんな暮らしをしていたのでしょうか？

今みたいにテレビもスマホもコンビニもない時
代。洋服ではなく着物を着て過ごしていました。

ですが、明治時代に^{あか}あんぱんが発明されたり、
電気による^{よう}灯りが登場したり、布を使う^{よう}洋傘が
広まったりしました。今のみなさんが当たり前と
思っているものの多くは、実は明治時代から始
まっているんですね。

右の絵を見てみよう

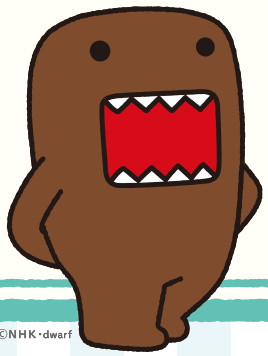
- ◎金魚屋さんのようすが描かれています。
- ◎袴^{はかま}すがたの女学生が洋傘を持っていますね。



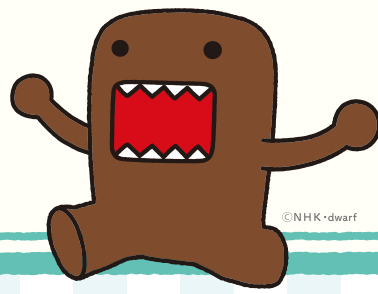
《明治風俗》十二月 金魚屋 六月 昭和10(1935)年

調 べ て み よ う

みなさんは平成から令和に変わる時代の節目に立ち会いました。
これまでどんな元号があったでしょう？ 名前の由来を調べてみましょう。



みんなであらう



作品をすみずみまで見ると、ヒントが見つかりますよ。会場でもっと詳しく確認してみましょう。

©NHK・dwaf

©NHK・dwaf

こたえは裏表紙にあります

Q1

てんらんかい 展覧会の作品には、かさを持っている人物がたくさん登場します。

やってみよう！

傘が何本描かれているか、展覧会の会場を歩いて探してみましょう。

本



やってみよう！

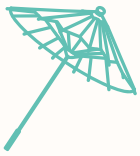
自分のお気に入りの傘をひとつ選んで、友だちと教えあってみましょう。

選んだ傘：

選んだ理由：



《十一月の雨》昭和30(1955)年 上原美術館



さまざまな「かさ」

「かさ」の種類はたくさん。おもに和紙と竹を使って作る「和傘」、布を使って作る「洋傘」、頭にかぶる「すげがさ」などがあります。



Q3

中央の男の子は、何かを売りに来たようです。どんなものなのでしょうか？

ヒント かごの中を見てください。とても新鮮ですね。



《鱈》昭和12(1937)年頃

さらに挑戦！

男の子と女性は会話をしているようです。絵の中の人物になりきってせりふを考えてみましょう。

女性



男の子

Q2

これは明治時代の「絵双紙屋」さん。絵本や雑誌、話題の新書や小説、文房具やおもちゃなどを売っている、町の本屋さんのような所でした。

やってみよう！

どんな人たちが買いに来ているのでしょうか？



《絵双紙屋の店》大正8(1919)年 弥生美術館



Q4

清方さんは、明治の人びとの生活をひと月ごとに一枚ずつ描きました。

やってみよう！

どれが何月のようすでしょうか？ 下のヒントをもとに考えてみましょう。



《明治風俗十二月月水店八月》昭和10(1935)年



《明治風俗十二月月水店八月》昭和10(1935)年



《明治風俗十二月月水店八月》昭和10(1935)年

月

月

月

ヒント 1月：お正月らしい遊びをしています。／4月：春に見に行くものといえば？／8月：ひんやりしたデザートが見えますね。



展覧会を楽しむマナー



走らない

作品やほかのお客さんにぶつかったら危険です。



さわらない

作品はとても繊細。絶対にさわらないようにしましょう。



メモは鉛筆で

ボールペンのインクなどが飛んで作品が汚れてしまうおそれがあります。